

1. 科目名 (単位数)	保育の心理学Ⅱ (2単位)	3. 科目番号	SJMP2110 SSOT3405						
2. 授業担当教員	石 曉玲								
4. 授業形態	演習 (ディスカッション, グループワーク), 講義	5. 開講学期	春期						
6. 履修条件・他科目との関係	「保育の心理学Ⅱ」は「保育の心理学Ⅰ」の発展科目なので、「保育の心理学Ⅰ」の単位を修得した後に履修することが望ましい。								
7. 講義概要	<p>子どもを取り巻く社会は、家族の形態や就労、価値観や知識などの家族環境、子育てを支援する地域や福祉という社会環境、さらには社会全体にある子育て観や遊び道具の変化など様々な側面で大きく変化してきています。</p> <p>保育の心理学Ⅱでは、保育場面での生活や遊びを通じて得られる様々な経験がどのように子どもの発達に関わっているかを理解し、子どもの心身の発達を促進する保育における発達援助について学びます。この講義では学習心理学や教育心理学と呼ばれる心理学の知識についての理解を深めながら、保育の心理学Ⅰで学習した子どもが本来持っている発達の素質を引き出すために、保育者はどのような関わりをしていけばよいのかを実践的に考えていきます。</p>								
8. 学習目標	<p>①子どもの経験に基づく学習の過程を理解し、説明できるようになる。</p> <p>②保育実践の場で養われる子どもの心身の発達について理解し、説明できるようになる。</p> <p>③子どもの発達・教育に関する心理学の知見をもとに、発達に応じた保育場面での支援について実践的に考えることができるようになる。</p>								
9. アサインメント (宿題) 及びレポート課題	<p>授業内容にかかわる課題を授業中に随時提示します。</p> <p>授業中テストを実施します。予習・復習など自発的勉強が必要です。</p> <p>保育実践に活かす心理学の基礎知識の理解と応用する力を高めるために、子どもの発達や学び、保育に関わる宿題を出します。</p> <p>授業中にビデオを見たり課題を読んだりして、話し合いや発表を行います。</p>								
10. 教科書・参考書・教材	<p>【教科書】 谷田貝公昭 (監修) 『子どもの理解と援助』一藝社。 授業中にプリントや資料を配付するので、各自ファイル (A4 用) を用意しておくとういと思います。</p> <p>【参考書】 松原達哉編『発達心理学—健全やかな幸せな発達をめざして』丸善出版。 咲間まり子編『多文化保育・教育論』みらい社。 菊野 春雄 (著) 『乳幼児の発達臨床心理学: 理論と現場をつなぐ』 北大路書房。 厚生労働省編 保育所保育指針解説 平成 30 年 3 月 文部科学省著 幼稚園教育要領解説 平成 30 年 3 月 「保育の心理学Ⅰ」や「発達心理学」「教育心理学」などの授業を受講している人は、その授業内容、教科書、参考書も参考にしてください。</p>								
11. 成績評価の規準と評定の方法	<p>○成績評価の規準</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 子どもの心身の発達および学習の過程について説明することができるか 2. 心理学の知見をもとに、発達に応じた保育場面での支援について実践的に説明することができるか <p>○評定の方法</p> <table border="0"> <tr> <td>1. 授業態度と参加姿勢</td> <td>総合点の 30%</td> </tr> <tr> <td>2. 課題発表</td> <td>総合点の 30%</td> </tr> <tr> <td>3. 試験もしくはレポート</td> <td>総合点の 40%</td> </tr> </table>			1. 授業態度と参加姿勢	総合点の 30%	2. 課題発表	総合点の 30%	3. 試験もしくはレポート	総合点の 40%
1. 授業態度と参加姿勢	総合点の 30%								
2. 課題発表	総合点の 30%								
3. 試験もしくはレポート	総合点の 40%								
12. 受講生へのメッセージ	子どもや自分・他者の心の働きに対して興味を持つことが授業の理解につながります。教員と学生の相互努力によって授業はよりよくなっていきます。受講生の授業への積極的な参加と授業への協力を求めます。								
13. オフィスアワー	第 1 回目のガイダンスで発表します。								
14. 授業展開及び授業内容									
講義日程	授業内容	学習課題							
第 1 回	ガイダンス 授業のすすめ方 保育の心理学Ⅱを学ぶ意義について	事前学習	シラバスを読んでくる。						
		事後学習	シラバスと授業の進め方を理解し、テキストに簡単に目を通す。						
第 2 回	子ども理解における発達の把握① (教科書第 4 章)	事前学習	教科書の第 4 章を読み、『発達』の意味を理解する。						
		事後学習	授業内容を振り返り、子どもの発達をとらえる視点について考える。						
第 3 回	子ども理解における発達の把握② (第 1 章、第 2 章第 1・3 節)	事前学習	発達の大まかな流れを復習する。						
		事後学習	授業を振り返り、乳幼児期の発達の節目を理解する。						
第 4 回	個人差に応じた保育 (第 2 章第 2 節)	事前学習	関連内容を読み、個人差と発達の関係を理解する。						
		事後学習	授業内容を振り返り、発達における個人差を保育者としてどうとらえるか考える。						

第5回	保育の中での子ども理解 (第3章)	事前学習	第3章を読み、環境構成の重要性を知る。
		事後学習	授業内容を振り返り、保育者に求められている子ども理解とは何かを考える。
第6回	遊びと発達(第6章)	事前学習	第6章を読み、遊びと発達の基礎知識を復習する。
		事後学習	授業内容を振り返り、子どもにおける遊びと発達の関わりを理解する。
第7回	遊び支援の実際 (第6章)	事前学習	第6章を読み、遊び支援の意味を考える。
		事後学習	授業内容を振り返り、保育における遊びを豊かに進めるための環境設定や環境作りの大切さについて考える。
第8回	保育における特別な支援Ⅰ (第8章)	事前学習	第8章を読み、「気になる子ども」について考える。
		事後学習	授業内容を振り返り、これからの保育現場では何が求められるのかを考える。
第9回	保育における特別な支援Ⅱ (第9章)	事前学習	第9章を読み、代表的な発達障害について理解を深める。
		事後学習	授業内容を振り返り、個々の特徴に応じた支援のあり方について考える。
第10回	保育における特別な支援Ⅲ (第9章)	事前学習	第9章を読み、子どもや保護者を支える協働体制にはどのようなものがあるのか考える。
		事後学習	授業内容を振り返り、保育者としての関わり方を考える。
第11回	保育における特別な支援Ⅳ ((第10章、第11章)	事前学習	第10章、第11章を読み、子育て家庭のニーズを考える。
		事後学習	これからの時代に求められる子育てにおける保育の役割について考える。
第12回	さまざまな視点から保育を学ぶ	事前学習	多文化保育について調べる。
		事後学習	文化の視点から保育を考察する。
第13回	保育所における支援①児童虐待の理解と対応 (第12章)	事前学習	第12章を読み、虐待の現状について考える。
		事後学習	授業を振り返り、虐待に対して保育者としてどのような支援ができるのか、考える。
第14回	保育所における支援②乳幼児期の学びを支える保育(第15章)	事前学習	発達の連続性を理解し、幼児期以降の学びについて考察する。
		事後学習	授業を振り返り、幼児期の育ちと集団生活、自主性の発達、学校への移行について考える。
第15回	全体のまとめ・小テスト	事前学習	テキストをもう一度通読し、発達と保育に関する課題を考える。
		事後学習	授業内容を振り返り、現代における保育の課題や問題点を解決するための取り組みについて考える。